

女性の多様な働き方普及事業【滋賀県】

個別事業費	1,453 千円
交付金額	726 千円

地域の実情と課題

滋賀県の女性の労働力率は、30歳代を谷とするいわゆる「M字カーブ」を示しており、結婚・出産・育児を理由として、離職する女性が多い。その一方で、職に就いていない女性の多くが就労を希望しているが、就労のハードルが高い状態である。また、コロナ禍を経て「新たな働き方」が普及しつつある中、オンラインスキルを持ったデジタル人材が求められている。

事業の特徴

○子育て世代で無職女性の約6割が就労を希望する中、マザーズジョブステーションでの再就職の後押しとともに、「新たな働き方」の一つとして在宅ワークの普及を通じて就業を支援。
 ○在宅ワークの基礎をセミナーにおいて学習したのち、在宅ワーカー同士の交流会を実施することで、在宅ワークに対する心理的障壁を取り除くことを可能とした。

事業の効果

○マッチング交流会出展企業数は目標の10社を達成することができ、在宅ワーカーへの業務の発注について企業側でも関心が高まっていることが確認できた。
 ○交流会参加者へのアンケートでは交流会の満足度が8割以上となっており、普段は一人で活動することの多い在宅ワーカー同士がつながる機会を設けたことで、不安の解消や、レベルの高い業務へのチャレンジ意欲創出に寄与できた。

目的・目標

事業目標： 参加者数 100人(実績 125人)
 ○様々な家庭の事情等の理由により外で働くことが困難な女性の働き方の選択肢として、在宅ワークを普及すること。
 ○在宅ワークを活用したい事業者とのマッチングの機会を提供すること。

連携団体

○仕事と生活の調和・女性活躍推進会議しが
 滋賀県商工会議所連合会/滋賀県商工会連合会/滋賀県中小企業団体中央会/滋賀経済同友会/一般社団法人滋賀経済産業協会/公益社団法人びわこビズターズビューロー/日本労働組合総連合会滋賀県連合会/滋賀県社会保険労務士会/滋賀子育てネットワーク/株式会社創/社会福祉法人しみんふくし滋賀/生活協同組合コープしが/滋賀県市長会/滋賀県町村会/滋賀労働局/滋賀県
 ○後援：草津市

今後の課題

○コロナ禍を経てこれまで以上に「在宅ワーク」という働き方が注目されているが、現状では企業側が在宅ワーカーへの発注業務の抽出に苦慮していることや、企業側とワーカー側の求めるスキルに齟齬があることなど課題は多くある。
 ○在宅ワーカーへのスキル向上の支援や、企業とワーカーのマッチング機会の充実、在宅ワーカーのフォローアップ等を図る必要がある。

令和6年度 女性の多様な働き方普及事業

①スキルアップセミナー（オンライン×一回、参集方式×二回 計三回）

対象：滋賀県内在住の在宅ワークを始めようとする女性
在宅ワーカーの女性

開催日時：〈オンライン〉11月12日（火）10:00～12:00
〈参集方式〉11月19日（火）9:30～12:00
11月26日（火）9:30～12:00

参加人数：11月12日（定員：20名程度 実績：25名）
11月19日（定員：20名程度 実績：15名）
11月26日（定員：20名程度 実績：17名）

場所：県立男女参画共同センター

受託者：合同会社LOCO

内容：今までの経験や専門的なスキルを活かして、在宅ワークの仕事をするために必要なことを学ぶ

②お仕事マッチング交流会（参集方式×1回）

対象：滋賀県内在住の在宅ワークを始めようとする女性
在宅ワーカーの女性

開催日時：〈参集方式〉12月13日（金）9:30～12:30

参加人数：12月13日（定員：50名、10社 実績：68名、10社）

場所：キラリエ草津大会議室

受託者：合同会社LOCO

内容：家庭の事情や地理的条件などの理由により、外で働くことが困難な女性を対象に、企業と話しをすることができる（事業、仕事説明、質疑応答、フリートーク）

